

●第7回 豊郷町総合開発審議会 議事録

日 時：平成31年2月5日（火）

午後2:00～

場 所：豊郷町役場

別館3階 会議室

開会

事務局：ただ今から、第7回 豊郷町総合開発審議会を開催させていただきます。今回は最後の審議会となりますので、よろしく願いいたします。

1. 会長あいさつ

会 長：皆様こんにちは。当審議会は本日が最後となります。

本日は前回審議会後のパブリックコメントを経て、委員の皆様のご意見も反映させていただいた最終案となりますので、最終チェックをお願いしたいと思います。

ご了解を賜れば明日答申となりますが、答申につきましては僭越ながら私から町長にお渡ししたいと思いますので、答申（案）につきましても後程ご確認いただければと思います。

また、小・中学生に描いていただいたイラストを計画書に挿入したいと思いますので、後程後ろに並んでいますイラストから皆様を選んでいただきたいと思います。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

2. 議題

事務局：出欠のご報告をいたします。2名の委員につきましては本日欠席の連絡をいただいておりますが、委員の半数以上にご出席いただいておりますので、本審議会につきましては成立していることをご報告申し上げます。

(1) 第5次豊郷町総合計画（案）について

事務局：第5次総合計画（案）（資料1・2）について説明

会 長：前回からの変更点、修正点についてご説明いただきましたが、ご意見等ございませんでしょうか。特にご意見がないようですので、進めさせていただきます。

(2) 豊郷町総合計画答申（案）について

事務局：豊郷町総合計画答申（案）について説明

会 長：特にご留意いただきたいことを3点挙げていただいております。まず、これからの行政は行政だけで取り組む時代ではなく、行政・住民・事業者の皆様が役割分担を図りながらまちづくりを推進していくということ。2番目に、いろいろなご要望はあるかと思いますがお金が無限にあるわけではないので、費用対効果や効率性、効果性を考えながら進める行政経営について。こちらは大変重要かと思っております。そして3点目に、総合計画を作っ

- とが挙げられています。非常にバランスよく作っていただいていると思います。この答申(案)につきまして、皆様にご意見を伺いたいと思います。
- 委員：計画書ですが、スペースがあるところ、例えば54頁や67頁等は掲載している写真をできるだけ大きくできませんでしょうか。
- 事務局：計画書の体裁については、この後の議題にあります小・中学生のイラストも入れていくこととなりますのでレイアウトは変わりますが、ご意見を取り入れていきたいと思います。
- 委員：答申(案)の3点目に計画の見直しとありますが、どのくらいの期間でされるのでしょうか。
- 事務局：基本的にこの計画は構想が10年間、基本計画も10年間とみていますが、基本計画に関しては5年後に中間評価をし、次の5年に向けて見直しをしようと考えています。ただ、予算を立てるにあたり毎年度各課で進捗を把握していきますので、1年ごとの細かい見直しと5年ごとの大きな見直しがあるということになります。
- 委員：それは庁内で見直しをするということですか。
- 事務局：基本的には庁内での見直しとなりますが、初回の審議会をお願いしておりました通り、地方創生の計画を1年に1度進捗評価をする必要があり、それを皆様にさせていただくこととなりますので、今年と来年の7月頃にお集まりいただくこととなります。
- 会長：委員の今のご指摘は重要で、豊郷町におかれましては行政評価システムの体系化がなされておりませんので、今後内部だけではなく外部の視点も入れた客観的な評価を進め、総合計画をはじめとする行政計画をしっかりと進捗管理していく組織が必要だということから、計画書116頁に盛り込んでいただいておりますので、今後お考えいただければと思います。また、皆様はもうその役割を担っているということですので、今後もお力添えいただければと思います。

(3) 総合計画冊子イラストの審査について

- 事務局：総合計画冊子イラストの審査(資料3)について説明
- 会長：イラストの審査の時間は最後に取りまして、実物を見ながら審査していただきたいと思います。
- それでは最後の審議会になりますので、皆様から総合計画についてご意見やご感想を順番に一言ずついただきたいと思います。
- 委員：審議会に参加させていただきまして、私にとっても意義がありましたし、今後少しでも取り組んでいこうと思います。
- 委員：はたして意見を出し切れたかと思う部分もありますが、行政と地域と企業・団体が一つになり良い豊郷町をつくっていくための中心となる計画だと思っておりますので、これからもみんなで協力しながらやっていきたいと思っております。ありがとうございました。
- 委員：実現したいのは、「中山道の花街道づくり」でして、なんとか財源を確保していただきたいです。ぜひお願いします。
- 委員：この第5次計画は4月1日からとなりますが、3月31日までの第4次

計画についての10年間の評価について、行政として何かありますでしょうか。

事務局：今までの10年につきましては、計画書の「I はじめに」にも記載しましたように棚卸しをして、審議会の第1回から第3回にかけて皆様と進捗確認をしまいましたが、それらをふまえ今後もさまざまところで聞かれることもありますので、しっかりお示ししていきたいと思っております。

委員：これからの10年がどうなっていくのかわかりませんが、良い方向に行きたい、行っていただきたいと思う中で、住民と行政とが共に取り組んでいくにあたり、できるだけ旗振り役は行政にお願いしたいと思っております。また、我々も案を立てた以上、しっかりフォローしていかなければと思っています。

会長：繰り返しになりますが、やはりたえず行政を評価していく仕組みが重要だと思っておりますので、行政評価システムの構築を期待します。

委員：これだけ幅広い内容を審議させていただくことは難しかったと感じています。これから環境や時代の変化が著しい中で、毎年と5年ごとに見直しをされるとのことですが、PDCAを考えた場合、臨機応変に計画をバージョンアップしていけるような見直しが必要だと思っております。

委員：私も、難しい問題に取り組ませていただいたという思いです。ただ、生まれも育ちも豊郷なので、未来の豊郷のために思っていることについて全力で意見を出させていただきました。10年後どのようになっているか、しっかり確認させていただきたいと思っております。時代に応じた臨機応変な対応をしていただき、計画に基づいて頑張っていただけたらと思っております。

委員：審議会では各分野の代表の方々からいろいろなお話を聞かせていただき、豊郷町の全容や現状を教えていただいたように思います。ただ町民としては、事務局の方がここで一生懸命されてきたことをこの先10年同じ方がされるとは限りませんので、人がかわっても継続されるのかが心配です。そのためにも、116頁にあります行政評価システムは、必ずしていただきたいです。何かあったときに一部の住民だけが分かっているのではなく、住民一人ひとりに伝わる行政の仕組みにこれからも取り組んでいただきたいと思っております。

また、教育委員代表として出席しておりますが、教育は文科省の指示で進めることが多いのですが、改めて読み直しますとこの総合計画には豊郷の教育の特色が出ていないように思いました。給食の無償化については触れられていますが、これからの子どもたちに求められるものは何かという点について教育現場では考えていると思っておりますので、できましたら担当部署にご確認いただき、アピールできるところはしていただきたいと思っております。ここまでの資料を作り計画書にさせていただき、ご苦労されたと思っておりますので、本当にありがとうございました。

委員：10年前にも審議会委員として参加させていただきましたので2回目となりますが、次の世代に何を伝えていくのか、何を残していくのかという部分では、まだまだ取り組みが浅いように思います。当時、町史を学ぶことでこれだけは次世代に残したいというものが見えてくるはずだと思

編纂を考えておりましたが、いまだにまとまっておりません。今年の年明け頃、教育委員会より文化財に相当するようなものがあれば資料を提出してくださいという文書がでておりましたが、文化財も含めこれだけは次の世代に残したいというものを明確にしていくべきだと思います。また、それらを今の子どもたちに残していくには、マンガや絵本等のツールを使っていけないと次世代に伝わっていかないのではないかと感じました。

2点目にこれから中山道の花街道づくりに取り組まれるかと思いますが、その時にやはりモニュメントのような中心となるものを作る必要があるのではないのでしょうか。中山道を売り出す中でまちづくりを位置づけていくための具体的なものを検討する必要があるように思いました。

最後に福祉計画等各分野の計画を各課でつくっておられると思いますが、総合計画の中でもそれらの計画に触れ、期間や内容を記載し関連性を示すことができればよかったように思いました。

委員：商工会の代表として出席していましたが、ケガのため半分以上出席できず商工会としての意見をあまり発言できなかつたことを非常に残念に思います。また、この計画を商工会に持ち帰り、協議する場があつてもよかつたとも思いますし、老人会の代表もしておりましたので、老人会としてももっと提言できたようにも思いますので、もっと出席できていればと残念に思っています。ただ、計画ができあがりましたので、さらによくする指針になつてほしいと願つております。

委員：計画書に書かれていることは一歩ずつ前に進めていくしかないと思います。小・中学生が書いたイラストですが、133点の応募があり思つていた以上に応募が多く驚いたという事でした。子どもたちに10年後の豊郷はどうなつていゝと思いますかとたずねたら、色々なことを考えてくれたわけですから。その子どもたちの思いを形に残すようにやっていゝかないといけなかつたかと改めて思つていました。皆様ありがとうございました。

会長：133点のイラストは今後どうされるご予定ですか。どこかで展示したり機会を設けられたりされるのでしょうか。

事務局：今のところ考えておりませんでした。

会長：展示されるだけでもご本人も保護者の方も喜ばれますので、ぜひお考えいただければと思います。

委員：議会から出席させていただきましたが、「みんなでつくるまち」「安心のまち」「元気なまち」をつくるため「一生青春」と、大変すばらしいことが書かれています。現実的に進めていこうとすると予算も必要なことですので、議員として予算取りを頑張り、よい豊郷をつくつていゝきたいと思つてます。ありがとうございました。

委員：このような難しい会議に出席させていただき、大変勉強になりました。田舎ではある豊郷ですが、豊郷にしかない無理のないまちづくりをされて、誇りをもって住みつづけられる豊郷となることを期待したいです。また、事務局の方には、何度も意見が出てその度の修正も大変だつたと思つてます。ありがとうございました。

会長：委員の皆様、9か月にわたりありがとうございました。総合計画とは行

政や職員のためだけの計画ではなく、まちづくりの計画です。行政だけにやってもらうための指針ではなく、住民の皆様、事業者の皆様、町が一体となり進めていくものです。また、まちづくりのすべてが総合計画に書きこまれているわけではなく、総合計画は根幹であり、その後それぞれの分野の枝葉がのび、分野ごとの実施計画に基づき進められていくわけです。ですから、委員の皆様はそれぞれの方面でご活躍されておられる方ばかりですので、どうかこれからもそうした取り組みの中心となり総合計画をもとに豊郷町を盛り上げていっていただきたいとお願い申し上げます。私自身もせっかくご縁をいただきましたので、これからも豊郷町のため頑張っていきたいと思っております。また、事務局の皆様も大変ありがとうございました。

3. その他

今後の予定

豊郷町長へ答申：2月6日

3月議会へ上程：2月下旬～

4月：計画書の製本・印刷、ダイジェスト版の全戸配布

開会

事務局：今まで7回に渡りまして、慎重にご審議いただき本当にありがとうございました。時代はどんどん変化しています。少子高齢化や人口減少など、誰も経験したことのないこれからの10年をどうしていくのか、次の世代に何を残すのか、この計画に盛り込んだものを豊郷町として進めていきたいと思えます。また、旗振り役は行政の役割だと思っておりますが、皆様一人ひとりが主体となることも大事だとも思っておりますので、皆様にもご協力いただき一緒に取り組めたらと思えます。ご意見を反映できた部分やできていない部分、もっと踏み込んで書きたかった部分や書ききれなかった部分もあります。細かい部分については、各課でつくる個々の計画に盛り込んでいけたらと思えます。私もまだ10年後も役場にいると思えますので、この計画がしっかり進むように取り組んでいきたいと思えますので、皆様のチェックをよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。

午後3時頃終了